

日本精神保健社会学会

平成 27 年 5 月 20 日

THE JAPAN ASSOCIATION OF
MENTAL HEALTH SOCIOLOGY

事務局：栃木県宇都宮市豊郷台 1 - 1
帝京大学宇都宮キャンパス

<日本学術会議協力学術研究団体 No.1001>

滝澤武研究室内

TEL&FAX 028-627-7188

ニュースレター第 54 号

発行人：宗像恒次

編集人：上田敏子、窪田辰政

第 21 回日本精神保健社会学会学術大会に向けて

大会テーマ「見捨てる社会の中で共存を求めて」（仮）

第 21 回学術大会実行委員長

東京情報大学総合情報学部准教授

山口 豊



現代社会は物質的には豊かになっているが、人々は元気さを失っているように感じられる。ここ数年、3 万人を下回ってきたとはいえ、相変わらず先進国の中では我が国の自殺数の高さは顕著である。自殺に向かう人々は、将来への希望が持てず、生きがいを失っていることは容易に想像がつく。慢性的なストレスにさらされ、多数の人が、セリエのストレス学説汎適応症候群(GAS)の抵抗期を過ぎ、疲憊期に入らざるを得ない。見えない敵との戦いに敗れ、心身共に

失意の中で、エネルギーは枯渇する。うつ病であれ、生活習慣病であれ、出社拒否であれ、その病巣は同じであろう。更に、追い打ちをかけるかのように、社会や会社からは、弱音を吐くことを許されず、戦士としてひたすら「かくあるべし」との道徳的訓示を聞かされ続ける。いかながなものであろうか。このような社会を見捨てる社会と呼んでもいいだろう。

このような病巣に対し、自分らしく生きることが最善のコピーング方法ではあろう。ただ、だれしものがそのような心理的な知恵を獲得し、身につけていくことは容易なことではない。では、我々は無力なのであろうか。そのようなことはない。すでに、周知のことであるが、米国立労働安全衛生研究所(NIOSH)の職業性ストレスモデルによれば、仕事上のストレスは個人の性格や家庭環境の影響を加味して疾患につながっていくが、上司や同僚、家族などの社会的支援は緩衝要因として働くという。つまり、社会全体で個人を支えていくことが重要なストレス緩衝要因になるわけである。

本学会でもこのような視点に立ち、第 21 回大会テーマを「見捨てる社会の中で共存を求めて」とした。共存を求めて、研究者・臨床家・実務家の研究発表を期待したい。

第 21 回日本精神保健社会学会学術大会・総会のお知らせ（第 1 報）

- 開催日：平成 27 年 11 月 23 日（月）祝日
- 会場：筑波大学東京キャンパス
- 大会テーマ：「見捨てる社会の中で共存を求めて」（仮）

第 1 部 ポスター発表

第 2 部 シンポジウム

シンポジスト

服部 万里子氏

一般社団日本ケアマネジメント学会副理事長。NPO 渋谷介護サポートセンター事務局長。服部メディカル研究所所長。公益社団法人長寿社会文化協会理事長。大学で社会学を学び、一般企業で勤務後、病院に勤務しながら看護師資格取得、病院に 10 年勤務後 1989 年に高齢者医療看護福祉のコンサルティング事業を看護師 3 名で立ち上げる（服部メディカル研究所）。1999 年 NPO 渋谷介護サポートセンターを設立し、2000 年より居宅介護支援単独事業開始、ケアマネジャーとして現役。2001 年産能大学経営情報学研究科卒業（MBA 取得）。2012 年 4 月より立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科講師。看護師、社会福祉士、介護支援専門委員。

李 貞淑氏

1986 年韓国テクミレ大学校幼児教育科卒業。1993 年日本放送大学教養学部（社会と福祉コース）卒業。同年、ボランティアとして日韓友好促進豊島区議会議員連盟（ソウル特別市東大門区議会視察訪問同行通訳）に携わる。2013 年ニューヨーク LAGUARDIA COMMUNITY CITY 大学相談セミナー履修。同年、アイ・ディア「セラピーマスターコース」修了。在日本大韓民国民団東京豊島支部事務部長（1988 年～2012 年）。第 46 期民団東京地方本部平和統一推進委員会委員（2006 年～2007 年）。2014 年より現在、経済産業省「人活」プロジェクト参加（メンタルコンサルタント育成及び人材マッチングプロジェクト）。東京メンタルヘルススクールカウンセラー。

栗林 知絵子氏

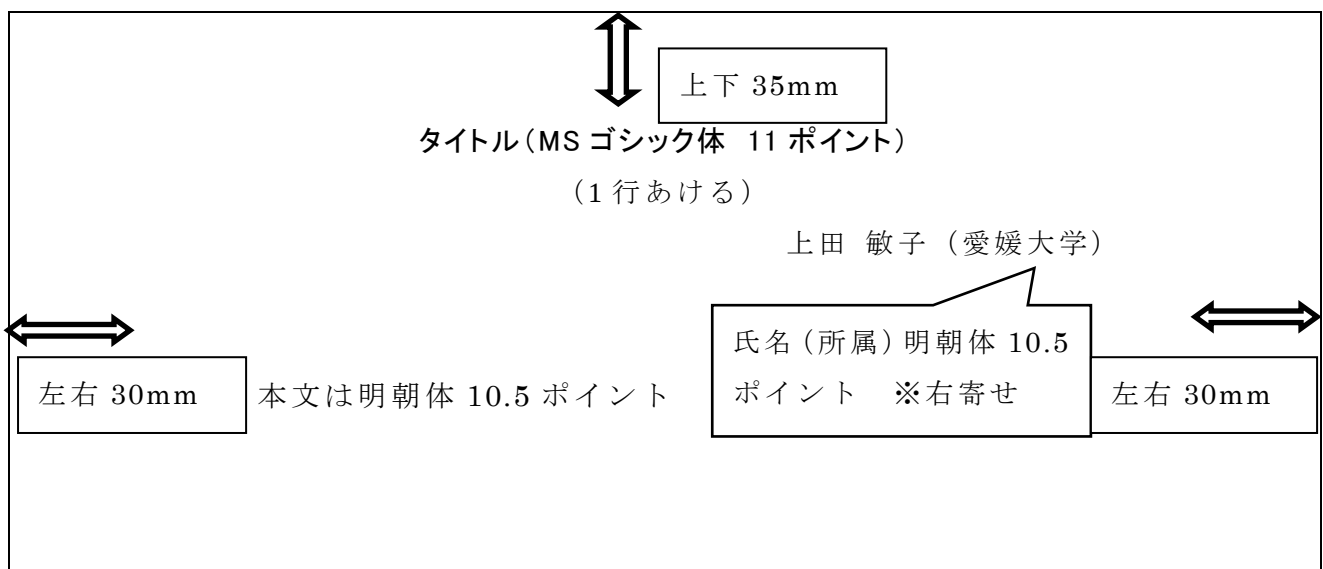
東京都豊島区在住。6 人家族で大学生、高校生の男児 2 人の母。2004 年より池袋本町プレーパークの運営に携わる。自他共に認める“おせっかいおばさん”で NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長。遊び、暮らし、学びを支えるネットワークと、さまざまなカタチの居場所を創出。困難を抱える子どもたちが環境に左右されることなく、自分らしい人生を歩める包容力のあるまちづくりを目指している。

★ポスター発表の演題募集★

発表希望者は演題名を **9月23日(水)**までに事務局へお申込みください（FAX または郵送にて）。抄録については、**10月23日(金)**までに事務局まで提出してください。抄録については、下記のフォーマットに沿って作成してください。

ポスター発表のスペースは、90cm×180cm（A4用紙で20枚程度貼れるスペース）を予定しています。

抄録のフォーマット（A4サイズ）



機関誌「メンタルヘルスの社会学 Vol.21」の原稿締切のお知らせ

「メンタルヘルスの社会学 Vol.21」の原稿締切日は**7月17日(金)**です。年報編集委員会では、会員の皆様からの原著論文を募集しております。また、総説、研究報告、実践報告、短報、研究ノート、資料等もお待ちしております。論文の書式は年報の執筆要項をご覧ください。なお、タイトル、抄録の英文についてはネイティブチェック（専門校閲）を必ず受けるようお願いします。多くの会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

平成27年度「学会奨励賞」募集のお知らせ

昨年度より「学会奨励賞」を制定いたしました。希望者は事務局へ詳細をお問い合わせの上、選考基準を充たしているようでしたら必要書類を作成し、9月末日までに事務局必着にてご応募ください。

精神保健社会士 武藤収

私は、カウンセラーが100名ほど所属する心理業を営む法人で、企画、営業、相談、経営を行っている。普段、企業人事と接することが多い中で、3年前のある日、顧客のIT企業役員から、次のように提案された。「毎年不調者や離職者が絶えない。特に出向社員にその傾向が強く、普段の様子がよく分からないし、フォローすることができない。そこでこんな仕組みはどうでしょうか？」と言われて耳を傾けた。その仕組みは勤怠システムとメンタルチェックを一体化させた発想で、出退勤のボタンを6種類の天気マークに変えて、毎日の出退勤記録と同時に気分も記録して、気分が落ちてきた社員に上司やカウンセラーがフォローする方法だった。私は、この経営者の発想に大きな期待が高まったことを覚えている。その後、この経営者と共同開発し、医師の監修も仰ぎ、コンディションケア（略してコンケア）という仕組みを完成させて世に出した。

この仕組みは記録だけではなく、「いつもの状態の波形」から乖離が起こればシステムからサインが本人、上司、産業保健スタッフ、事業場外資源である当センターに届く。（本人同意のもと）そのサインを受け取った者はスピーディにタイミング良く支援を届け、4つのケアを実践する。そのことで早期介入と早期回復を実現させることが狙いである。

半信半疑で開発に臨んできた私も、導入頂いた企業で結果が出てくるうちに、確信に変わり、今後も未然に不調者（病める）や離職者（辞める）を発生させない仕組みとして、社会に広げ、挑戦したいと思っている。

これから、私がやりたいこと。

大人で効果が出てきたこの仕組みを応用して、子どもの自殺や上村君事件のようなことを未然防止すること。いじめから子どもを守ることに挑戦していきたい。いじめが深刻化してしまう前の段階で、サインが出てくるとの仮説を立て、サインを受け取ったSC、SSW、担任、保護者が4つのケアを早期に行えれば、解決回復が早く、不登校防止やいじめによる自殺防止にしたい。

人生において喜怒哀楽はつきもの。怒りや哀しみのエピソードを重篤化しないうちに介入し、喜びや楽しさに繋げることが、子ども達の生きた教育になっていくことを信じて挑戦したい。

最後に私からのお願いです。

「いじめから子どもを守る研究プロジェクト」として研究協力頂ける先生を探しています。

目的はいじめ対策。方法は、タブレットが配布されている小学1年と6年、中学校1年と3年の4クラス等で、出欠記録と気分記録として上述した仕組みを導入し、

SC にアラートを飛ばして早期介入を試みる。早期介入回復につながる成果が出てくるものなのか共同研究をさせて頂きたくお願い申し上げます。クリアしないといけない課題はたくさんありますが、ご連絡いただけると幸いです。よろしくお願い申し上げます。mutou@t-mental.co.jp

関連学会情報

第 12 回関東心理相談員会の大会のご案内

東京メンタルヘルス 武藤清栄

平成 27 年 5 月 30 日（土）13 時から 16 時 30 分まで、関東心理相談員会と産業栄養指導者会主催の大会が開催される。大会では、2 つの特別講演が予定されている。1 つは「プレゼンテーションの極意」これは東京工芸大学芸術学部教授の大島武先生にお願いしている。心理相談員やカウンセラーは、人の話を“きく”ことは慣れている。また、“きく”ための訓練をしているが、話をしたり、相手を説得したりするのは不慣れな人が多い。どちらかという話しをする仕事は嫌い、きくことを中心とする心理相談やカウンセラーの仕事を選択した、という人は少なからずいるであろう。しかし今日、メンタルヘルスのサービスが浸透しつつある状況下においては、営業普及活動はとても重要になってくる。それにはプレゼンテーション能力も求められてくる。相手をひきつける話し方、相手の人格を尊重した話し方、交流分析でいうストロークやパンクチュエーションなどなど、プレゼンの題材はつきない。ぜひ参加していただきたい。

2 つ目は、「健康な食事のあり方」千葉県立保健医療大学健康科学部教授渡邊智子先生に、生活習慣から問い直す食事のあり方について話していただく。考えてみれば、「何を食べるか」とか「いつ食べるか」などといったことは、経済的条件や生活習慣からみていかない限り、健康な食事の摂取などにはあり得ない。このテーマも面白そうである。期待したい。

日 時	平成 27 年 5 月 30 日（土） 13 時～16 時 30 分
会 場	中央労働災害防止協会（最寄駅 田町）
大会参加費	会員 4,000 円 非会員 5,000 円
懇親会費	5,000 円

日本精神保健社会学会入会のご案内

1. 主旨

今日ほど、社会諸科学がその社会的責任を果たすことを必要とされている時代はないでしょう。とりわけメンタルヘルスの問題は、慢性化する内戦や犯罪に始まり、薬物依存、弱者虐待、閉じこもり、抑うつ、仕事中毒、セックス中毒など、国も内外に山積しています。

これまで産業社会を支えてきた近代科学技術は、感情を極力排し、事柄のみに基づいて判断し、評価する秩序を作り、豊かな物の生産と消費の基盤を発展させてきました。しかし、そうした感情を排する秩序を徹底して作れば作るほど、人と人との共感する心は失われるのです。そして、「自分の持つ本当の感情は何か」を見失い、無気力に閉じこもったり、あるいは食、セックス、地位などの快感を求めることに逃避したり、弱い立場にある者を差別し、様々なかたちの暴力を加えるのです。ところが、これらの問題は、これまでの各ローカル社会における従来の秩序のあり方では、解決できなくなってきました。

そこで私達は、自分や相手の本当の感情を見だし、共感しあうメンタルヘルスを求めています。そして、それを個人にとどまらず、集団、社会に、さらには文化として表現する具体的かつ実践的な対応策を導き出すためには、精神保健社会学の理論と方法論とが必要であります。

学会長には情動認知行動療法研究所の宗像恒次氏が選出され、理事達の顔ぶれも社会学、心理学、保健学、社会福祉学、精神医学、公衆衛生学と多岐に渡っています。

様々な分野の方々が、入会下さるよう期待しています。

2. 指針

- ①メンタルヘルスの背景となる社会・文化的構造と変動を、社会学的な視点から研究をすすめて、世論の形成に寄与し、社会的貢献を果たす。
- ②大会やイベントにワークショップ形式を導入し、学会の運営に会員が積極的に参画する。
- ③国際的にも仲間づくりをすすめていく。
- ④建前を排し、本音で語り合える仲間や研究グループを形成する。
- ⑤社会学を専攻する学生達に、夢を与えるような仕事をする。
- ⑥大会やイベントごとに論文や本などをまとめて出版し、成果を社会に還元して行く。

3. 入会申し込み方法

送付先：〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 帝京大学宇都宮キャンパス 滝澤武研究室内

日本精神保健社会学会事務局 TEL. 028-627-7188 FAX. 028-627-7188

入会金：5,000 円

会 費：通常会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員一口 10,000 円（一口以上）、機関会員 20,000 円

送金先：郵便振替 00170-6-613036 加入者名 日本精神保健社会学会

※ FAX、または郵送にてお申込ください。承認後、振込み手続き等をご送付します。

日本精神保健社会学会入会申込書

フリガナ 氏 名		生年月日	西暦 年 月 日 歳 (男・女)
会員種類	通常会員・学生会員・賛助会員・機関会員 を希望する	連絡先	所属先・自宅 を希望する
所属先名 及び住所	〒 TEL. FAX.		
自宅住所	〒 TEL. FAX.		
所 属 系 (○印で)	社会学・文化人類学・経済学・哲学・心理学・社会福祉学・教育学・看護学・医学・保健学・栄養学・ 体育学・地理学・行政学・政治学・その他()		
関心領域			